

令和8年度 放課後子供教室 目標

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値
核家族化や共働きが進み、放課後に家族以外と過ごすことや、郷土を親しむことなど、様々な体験活動を行う機会が減少していることが課題となっている。	昨年度に企画し、好評であった行事も継続しながら、更に地域とふれあう機会を増やし、新しい企画行事を計画し実施していく。	子どもたちに好評であったドッジビーや、閉校した学校でも取り組んでいた布ぞうりづくり、郷土芸能を学ぶ企画で行った秩父音頭などは、参加した児童が地域の人とふれあうことができ、歴史や昔の生活などに興味を持つきっかけになるため継続して実施していきたい。	放課後児童クラブの友人とも交流が図れ、指導員や地域のボランティア等と一緒に活動することで、多くの人とふれあい、また郷土芸能を学ぶこともできる。	企画行事の回数	3	回	3
学校で行う授業以外の時間、場所で学習を行うことに対する指導等が、学校と家庭の共通の課題となっている。	教室開室時に指導員による宿題の見守り等、学習支援の場を設け、学習を習慣づける支援を引き続き行う。	教室に参加した児童に対し、活動の前にはまず、宿題に取り組むよう指導し、宿題の見守りを実施したところ自主的に取り組む姿勢が身についてきた。今後も継続し、勉強の苦手意識を払拭させ、家庭でも同じように自主的に取り組めるよう支援を続けていく。	学校以外でも日常的かつ自主的に学習を行う児童が増える。	週2時間以上学校以外で勉強する児童の割合	13	%	40